

正尊寺門信徒会報

平成24年2月発行

第40号

正尊寺だより

発行：岐阜県本巣市曾井中島 1592 正尊寺 Tel 0581-34-2018



浄土真宗の開祖親鸞聖人は弘長二年（一二六二）十一月二十八日（現代の太陽暦一月十六日）享年九〇才でお浄土にお還りになりました。今年の報恩講は七五〇回目のご命日に当たり、ご本山はじめ全国のお寺では七五〇回大遠忌法要が勤まっています。

正尊寺においても来たる四月二八・二九日に大遠忌法要を厳修すべく準備が始まり、報恩講の前に門前駐車場入口には正尊寺大遠忌法要を告知する駒札が掲げられ、いよいよ大遠忌のカウントダウンが始まりました。

ご本山での今年の報恩講は特別で、ご正当と呼ばれ昨年四月から始まった大遠忌法要の締めくくりとして、盛大に勤められていました。

正尊寺でも記念すべき御正忌報恩講をお勤めするにあたり、当番の曾井南部ブロック（中島・辻屋）のお取持ちの門徒衆も力が入りました。報恩講お供えのお華束は丁寧に盛り上げられ、慎重に彩色が施され美しくお内陣に飾られました。

十四日から三日間、おだやかな天候にも恵まれ大勢の方々が参詣され、本堂は午前午後と一日二回の法要は毎座満堂でのお勤め、そのあとの法話は高座説教といわれる浄土真宗の伝統的なスタイルでの法話聴聞で布教使さんのお話に聴き入っておられました。

昨年完成した庫裡でのお齋も二度目の報恩講で、諸什器も整い五十二畳の大広間でゆったり召しあがってもらえました。三日間の報恩講中のお齋の数は八〇〇食を越えていきましたが、厨房設備の充実でスムーズに対応することができ、エアコン空調も威力を発揮し快適な報恩講お齋場となりました。

献身的な取持とお手間のお供え、多くのお参りのご門徒、おかげでご正当の報恩講立派に勤まりました。

大遠忌法要の概略



会議室で開催される本部委員会

十二月初旬、本巢市アリーナの稚児行列使用の許可を受け、十二月十五日午後から本部委員会を開催し、正尊寺大遠忌法要の詳細について協議されました。

法要日程は、平成二四年四月二八日・二九日の二日間とし、前日の二八日(土)は親鸞聖人のみ教えを聴くことに特化し、真宗講座五〇回記念法座と併修し、午前午後とご講師に大阪の高田慈昭和尚をお招きし、美濃四十八座のご院さん方のご出勤での



宿坊となる庫裡仏間

法要を勤めることになりました。二十八日(日)の夜は『子ども大遠忌』と題して、子どもさんを中心に親子で参ってもらう集いになります。子ども向け法話は新潟の山之内浩乗師、アトラクションは大野町のサークルクリエーターの大紙芝居をしてもらいます。

二十九日(日)は午前中に山之内師による一座の法話、午後からは庭儀(稚児行列)を行い、宗祖讃仰作法による音楽法要をお勤めします。

このお勤めには、仏教婦人会有志のコーラス部隊も結成され、賑やかな法要になります。

庭儀の出発となる宿坊は、庫裡新築



住職揮毫の駒札

落慶法要でもあり、庫裡仏間を宿坊として勤行し、法中(お坊さん)が市役所前グラウンドに移動し、稚児行列開始となりました。

稚児宿(衣裳引渡・着替)は市役所体育館、稚児衣装引渡は前日二十八日午後から、当日二十九日の正午過ぎグラウンドに整列、稚児募集は定員五〇〇名、参加費は七千円と決まり、報恩講から開始し、門徒他門徒区別無く広く参加募集することになりました。

法要終了後に記念式典を行い、庫裡新築に貢献有った方々へ感謝状贈呈式を行い、山門前駐車場で庫裡落慶祝の餅まきを実施します。

この法要の運営は本部委員・地区役員で構成する法要委員、お斎賄いや準備など外山ブロックの門徒がお取持ちとなり、ご奉仕をお願いします。

感謝

- ◎ 庫裡仏間具足一式
大垣市 神山 助雄 様
- ◎ 庫裡会議机 六脚
川島町 青山 友洋 様
- ◎ 庫裡仏間焼香卓・香盒
下川原 小川 昭男 様

大遠忌法要

御寄進のお願い

お庫裡はご門徒の総力で立派になり、仏具や什器もだんだんそろって参りましたが、大遠忌にはもう少し充実できたらと思います。

- ◎ 庫裡仏間用 八寸大盤 (おりん) 三〇万円
 - ◎ 庫裡玄関幕 約二五万円
 - ◎ 大遠忌記念五条袈裟 四〇万円
- その他まだまだ庫裡備品等の什器寄進の特別懇志受付しております。

キッズサンガ 親子お経教室



毎月第3金曜日、
午後7時から親子お経教室
をしています。約一時間半程
度で、内容は

- ・ お経のおけいこ（お経の正しい読み方・・・）
- ・ ほとけさまのお話（仏教徒・真宗門徒としての心得）
- ・ お参りのお作法（恥をかかないお参りのしかたやお仏壇のお飾りなど）
- ・ おたのしみ（最後三十分はお菓子



キッズサンガ親子お経教室・日曜学校のBlogも公開中です、毎回更新していますお立寄りください。

正尊寺キッズサンガ

検索

真宗講座

平成十三年七月、正尊寺蓮如上人五〇〇回遠忌法要を縁として、一人でも多くの方に浄土真宗のみ教えを聴いてもらえるようにと始まったのが真宗講座です。

それから十年が経過し四九回開催をして、休むことなく通い続け一〇八回の満了表彰を受けた方が九名、十回表彰の方は三百十一名になり、いつも超満堂で賑わう法座になり、それが正尊寺だけで無く近在のお寺さんを巻き込んだ美濃四十八座と成長し、寺興しの代表として全国から注目をあびるまでになりました。

来る四月の正尊寺大遠忌には五十回の節目となり、いよいよ親鸞聖人のみ教えが多くの方々に聴いてもらえるよう、大遠忌の一日目は記念真宗講座としてお勤めします。

正尊寺真宗講座は出席カードがあり、節目の回数になった方を表彰しています。十回入門課程のカード通番は七〇〇番を越えています、正尊寺門徒全員がカードを持ってお聴聞に集まるお寺を目指し、今号でも新たな表彰者を掲載します。

一〇八回 金藤章受賞者

林多恵子 三田畑
児島幸夫 稲富

八〇回 銀藤章受賞者

宇野政子 屋井
宇野滋子 屋井

五〇回 青藤章受賞者

高田芳子 岐阜正木
林敏子 岩野

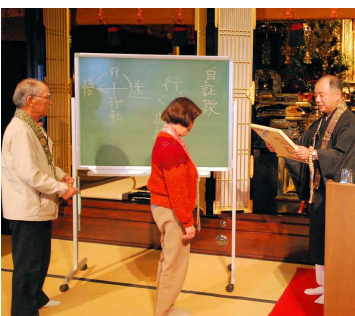
三〇回 黄藤章受賞者

加藤智恵子西ノ門
林好明三田畑
林民子三田畑

一〇回 白藤章受賞者

箕浦祐嗣 早野
大野忠弘 只越
堀 英子 掛斐川
河原育子 掛斐川
飯尾秀和 見延
加藤文男 西ノ門
加納辰夫 大野町公郷
浅野隆男 佐原
松井勇夫 下長瀬
山川すみ 早野
山岡敏郎 西川原

（受賞順・敬称略）



108回表彰風景

正尊寺親鸞聖人750回大遠忌法要



平成24年4月29日(日)

稚児行列参加者募集中

申込用紙はお寺に有ります。
定員500名お早めにお申し
込み下さい。



茶菓接待の お嬢さん募集

御遠忌法要の当日は三十名を
越える御法中(お坊様方)が
正尊寺に参集されます。この
方々にお抹茶やお煎茶をさし
上げるために、着物を着てお
手伝いして頂く娘さんを募集
しています。

期日 四月二十九日(日)

午前十一時
頃から午後
三時頃まで

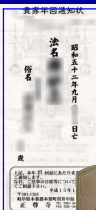
内容

着物を着て集まって貰い、
点てられたお茶を、それ
ぞれのお坊様の所まで運
び出すことと下げる仕事。
お茶のお作法などは事前
に集まり、お茶の先生か
ら指導を受けますので、
経験は不要です。



お手伝い願える方はお寺
まで御一報下さい。
練習日等詳細をお知らせ
します。

お釈迦様が亡くなられたお
姿を描いた涅槃図の絵解き
を行います。



法名釋○△

涅槃般來会

二月十五日 午後2時
白木の位牌、古い仏具や経
本のお焚上げもします



Google 検索
行事の詳細はホームページを
御覧下さい。